

日本精神保健看護学会

第21回総会・学術集会のご案内

テーマ：精神看護の先進的実践を求めて

会長：岩瀬信夫（愛知県立大学看護学部教授）

第21回日本精神保健看護学会学術集会を、2011年6月18日（土）19日（日）の両日にわたって、名古屋駅前にあります愛知県産業労働センターにおいて開催させて頂くことになりました。

テーマは「精神看護の先進的実践を求めて」と致しました。精神看護分野においては1996年に2名の専門看護師が登場してからその数は2010年現在では68名になり教育機関も16大学院にまで増えております。最近では、医師不足対策や看護師の裁量権の拡大の流れの中で特定看護師制度が議論されております。一方日本看護系大学協議会や日本看護系学会協議会は「高度実践看護師（APRN）」のくくりの中で制度の検討を行っており、この学会の開催される頃にはcareとcureを見据えた教育制度の枠組みが示されると思われます。こうした時期であるがゆえに、精神科の看護師、特に専門看護師を含む高度実践看護師がどのような訓練・教育のもとに何をを行い、何ができるのかを示していくことが大切だと考えます。ケアのみならず、看護師が治療的または精神療法的介入を行った結果、精神医療の利用者にどのような利益がもたらされたか、またはもたらされるのかを検討していくことが、精神科で働く看護師の場や活動領域を拡張していくことに繋がっていくのではないかと思います。

初日はカリフォルニア大学サンフランシスコ校から、精神看護分野高度専門看護師プログラムディレクターのBethany Phoenix博士を招聘しアメリカにおける高度専門看護師の育成に関して基調講演をお願いしております。午後には看護師による療法的アプローチを行う基礎技術として、ヘルピングスキルに関する教育講演を長谷川メンタルクリニック所長の遊佐安一郎先生をお願いしております。また、今学術集会から初めて、市民公開講座を開催することになり、「こころの病を持つ親と生活する子供たち」というタイトルで漫画家の中村ユキ先生をはじめ、夏苺郁子先生、向谷地宣明先生、土田幸子先生の4名によるシンポジウムを企画しております。

2日目の午後は大会テーマに沿ってCNSの三ヶ木聡子先生、長谷川雅美先生、オーストラリアの精神看護クリニックの藤田幸子先生、指定発言者のPhoenix博士によるシンポジウムを行います。

学会参加、ワークショップの申込、学会の演題登録は逐次ホームページで行っております。<http://japmhn.jp/conference/> <http://www.cs-oto.com/japmhn2011/> 皆様の参加を心よりお待ちしております。

会場の愛知県産業労働センター（ウインクあいち）は、名古屋駅の新幹線口とは反対側の桜通口から歩いて5分以内の場所です。景気後退の中でもまだまだ賑やかな地域です。先の見えにくい時代に入って参りましたが、それぞれの体験や知識を持ち寄り、明日へ踏み出す一歩を心に刻む。そんな学術集会にできるよう、事務局一同願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

大会テーマ「精神看護の先進的実践を求めて」

会長 岩瀬 信夫（愛知県立大学看護学部 教授）

日時：2011年6月18日（土）・19日（日） 場所：愛知県産業労働センター（名古屋駅前：ウインクあいち）

プログラム

6月18日（土） 受付（8：00開始）

大会長講演

「精神看護の先進的実践を求めて」

精神看護の業務拡大と課題

岩瀬信夫（愛知県立大学看護学部 教授）

基調講演

『Role Development & Education of the
Psychiatric APRN』

Dr. Bethany Phoenix（カリフォルニア大学
サンフランシスコ校 看護学研究科 准教授）

ランチョンセミナー

教育講演

「援助技術の基礎としてのヘルピングスキル」

遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所 所長）

日本精神保健看護学会 市民公開講座

「こころの病を持つ親と生活する子供たち」

プレゼンター：

中村ユキ（まんが家/家族当事者）

夏苺郁子（児童精神科医/家族当事者）

向谷地宣明（べてるの家サポーター）

土田幸子（三重大学医学部看護学科 助教）

司会：

永井優子（自治医科大学看護学部 教授）

長江美代子（日本赤十字豊田看護大学 教授）

一般演題発表

ワークショップ

6月19日（日） 受付（8：00開始）

総会

一般演題発表

ワークショップ

ランチョンセミナー

シンポジウム

「精神看護の先進的実践を求めて：精神看護の
専門性と看護業務の拡大のあり方に焦点をあてて」

シンポジスト：

長谷川雅美（金沢大学医学部 教授）

藤田幸子（Toowong Private Hospital, Australia）

三ヶ木聡子（筑波メディカルセンター病院）

指定発言：

Dr. Bethany Phoenix（カリフォルニア大学
サンフランシスコ校 看護学研究科 准教授）

司会：

岩瀬信夫（愛知県立大学看護学部 教授）

國方弘子（香川県立保健医療大学保健医療学部 教授）

開催場所地図

愛知県産業労働センター（名古屋駅前：ウインクあいち）
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38



詳細な地図は、学術
集会HPに公開して
おります

●電車をご利用の場合

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より徒歩約2分

JR (東海道新幹線) をご利用の場合

◎東京……………約97分

◎新大阪……………約51分

●お車をご利用の場合

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分

駐車場……………収容台数123台 (有料)

●飛行機をご利用の場合

中部国際空港 (セントレア) ……約28分

(名鉄空港特急利用)

*名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。

また、時間帯により多少異なります。

第21回総会・学術集会 一般演題の募集

本学会では、口演形態での発表としております。

成果の発表はもちろん会員の皆様が日々努力しておられる実践や研究を検討し、深める場として、どうぞふるってご申し込みください。

1 一般演題登録方法と査読について

UMIN 演題登録システムでの受付となります

●一般演題の受付期間：2011年2月9日 (水) 正午まで

※上記期間中、演題登録および修正・削除が何度でも可能です。

※締切間際には、登録や変更が殺到し、アクセスしにくくなる可能性がありますので、早めの登録と修正をお勧めします。

※演題採択結果は3月中旬ごろにメールでお知らせする予定です。

●登録方法

演題募集は、UMINオンライン演題登録システムを利用し、日本精神保健看護学会第21回学術集会HP (URL: <http://www.cs-oto.com/japmhn2011>) からのオンライン登録のみ受付致します。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。HPにあるご案内をご確認後、学術集会HPの「演題登録」ページの「演題登録」ボタンをクリックして、演題登録フォームにお進みください。

●演題応募資格

発表者・共同研究者は全て本学会会員であることが必要です。非会員の方が本学術集会で発表を希望する場合は、下記の2) 一般演題登録時の注意点を御読みにになり、入会申し込みを行ってください。

●オンライン登録についての注意

※UMINオンライン演題登録システムでは、Internet Explorer、Netscape、Safari (ver.2.0.3以降)、FireFox以外のブラウザでは演題登録できません。

※演題名の制限文字数は、全角70文字です。

※抄録は、全角で3,000文字まで、図表がある場合は2,010文字までとなります。登録可能な図表形式はJPEGもしくはGIFです。Word、Excelで作成された図表の画像 (JPG、GIF) 化の手引きは以下のHPをご参照ください。

http://square.umin.ac.jp/jann17/making_picture.pdf

※必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。

※図表サイズは、最大で縦1000ピクセル、横1000ピクセルです。

1インチ (2.54cm) = 72ピクセルが目安となります。

Windows PCの場合、スタート⇒すべてのプログラム⇒アクセサリ⇒ペイントで、作成した画像を開き、変形⇒キャンパスの色とサイズで、ピクセルの確認ができます。

※登録可能な最大著者数 (筆頭者 + 共著者) は、20名です。

※発表可能な最大所属施設数は、10施設です。

オンライン演題登録システムに関するFAQは、UMINのページ (<http://www.umin.ac.jp/endai/userfaq.htm>) をご参照ください。

●パスワードと登録番号

※最初に登録する際に、登録者本人に任意のパスワード (半角英数文字6~8文字) を決めていただきます。演題登録が終了すると同時に、演題登録番号が発行されます。演題登録番号が発行されるまでは演題登録は終了していませんので、ご注意ください。

※パスワードと演題登録番号は、抄録内容の修正や演題の採否確認、お問い合わせ時に必要となります。パスワードと演題登録番号は、必ず書き留めるか、その

画面をプリントアウトして保存することをお勧めします。

※パスワードと演題登録番号の記録及び機密保持は、登録者ご本人に依存します。パスワードに関するお問い合わせには、セキュリティの関係からお答えできませんのでご了承ください。

●登録演題の確認・修正・削除

※演題登録後は、演題登録確認画面をプリントアウトして保管しておいてください。演題登録の受領はE-mailで行ないます。演題登録受領のE-mailが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

※抄録内容の修正を必要とされない方も、念のため「確認・修正画面」にて抄録が登録されていることを確認されるようお勧めします。

【査読について】

- 学術集会では、一般演題の査読を行います。査読は、倫理的配慮及び抄録としての適切性に焦点を当てて行います。
- 研究において実施された倫理的配慮の具体的な内容を明記してください。大学や施設の倫理委員会に通ってれば、その旨の記載をしてください。
- 研究報告の場合は、研究目的、方法、結果、考察など、研究抄録としての体裁を整えてください。実践報告の場合は、実践の目的と内容、成果、今後の課題など実践報告としての体裁を整えてください。
- 演題受諾の可否については、3月中旬ごろに筆頭発表者にご連絡いたします。

【一般演題登録に関する問い合わせ先】

日本精神保健看護学会第21回総会・学術集会運営事務局
E-mail : japmhn2011@cs-oto.com

「一般演題登録に関する問い合わせ」と
お書きください

2 一般演題登録時の注意点～学会入会のお願い

発表者・共同研究者はすべて本学会会員であることが必要です。入会手続きがお済みでない方は、入会申込書（HP上の「入会のご案内」<http://www.japmhn.jp/membership/>からダウンロードできます）にご記入の上、以下の日本精神保健看護学会事務局宛で郵送ください。

【入会申込書送付先】

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19
株式会社国際文献印刷社内 日本精神保健看護学会事務局

【発表者の入会申し込み送付期限】

2011年2月9日（水）

- *理事会にて入会審査を行い、その結果をご連絡します。なお、審査結果ご連絡後、2011年3月31日（木）までに会費の納入が必要です。
- *非会員の方は期日までに、上記の入会申込書の送付および入金の手続きが完了していない場合、抄録集からお名前が削除され、演題発表することができませんのでご注意ください。

●学術集会参加申し込み方法

- 第21回学術集会への参加を希望される方は、HPにて参加登録を済ませられたうえで、同封の郵便振替用紙にて参加費のお振込みをお願いいたします。
- 学術集会HP (URL <http://www.cs-oto.com/japmhn2011/>) から「参加登録」にお進みください。なお、郵送での申し込みを希望される方は、日本精神保健看護学会第21回総会・学術集会運営事務局 (E-mail : japmhn2011@cs-oto.com / FAX : 052-930-6146) までお問い合わせください。

【参加費】

- 事前受付（2011年5月20日（金）まで）

会員	8,000円
非会員	9,000円
学生（大学院生を除く）	3,000円

- 当日受付

会員	9,000円
非会員	10,000円
学生（大学院生を除く）	3,000円
当事者	500円

- *2011年5月21日以降は振り込みできませんので、当日会場で受け付けます。
- *一度ご入金された参加費は返金できませんので、ご了承ください。
- *専用の振込用紙がない場合、郵便局備え付けの振込取扱票をご利用の上、下記の要領でお振込ください。

振込口座番号：00810-4-190442

加入者名：日本精神保健看護学会 第21回総会・学術集会
通信欄に下記を明記してください。

①会員（会員番号）・非会員・学生（大学院生を除く）
の区分

②HPの参加申し込み登録済みであること

HP登録と入金の両方の確認がされない場合、事前登録とみなされませんのでご注意ください。

● 宿泊及び昼食について

- ご宿泊について：宿泊等の斡旋は行いません。ご宿泊の方は各自でご予約をお願いします。
- 昼食について：当日、会場周辺の飲食店マップを配布いたしますので、ご利用ください。
- その他：交流室をご用意いたしますので、ご利用ください。

■学術集会のお問い合わせ先（事務局）■

E-mail japmhn21st@nrs.aichi-pu.ac.jp

FAX 052-736-1415

*担当：山田・中戸川・糟谷宛「日本精神保健看護学会学術集会問い合わせ」とお書きください。

■10月研修の報告

今年度第2回のセミナーは、10月31日（日）13時から16時まで、東京医科歯科大学M&Dタワーで行われました。「セルフケア支援の現状と課題」をテーマにシンポジウムを開催し、非会員を含め70名余の参加者を得ました。

まず、東京医科歯科大学で基礎看護学を担当する斉藤やよい先生から、慢性身体疾患のセルフケアについてお話し頂きました。岡山県の慈圭病院専門看護師の岩切真砂子先生からは、看護チームにセルフケア支援の方法を根付かせていった経過について報告頂きました。宮本は、他領域でセルフケア支援に関心が高まっている現状と今後の課題について報告しました。大阪で住民の健康作りに取り組む北川晋一氏からは、ヘルスプロモーションの視点から指定発言を頂きました。

医療の現場には、すでに定着したかに見えるセルフケア概念ですが、医療者主導のコンプライアンスから、患者の自己決定を重視するアドヒアランスへの転換は、ようやくここ数年の動きです。精神看護の領域ではセルフケア支援という課題に早くから取り組んできていますが、患者の自己決定を尊重しながら、望ましい決定内容を担保する上で、考えなければならないことが山積しています。

今回のセミナーでは、セルフケアという古くて新しいキーワードについて考えるヒントが豊富に提供されたように思います。各講師の話をおのまま埋もれさせないため詳細な報告についても検討中です。

（教育活動委員会 宮本真巳）

オンライン投稿について

大変寒い日々が続きますが、日本精神保健看護学会誌への投稿、いつもありがとうございます。

日本精神保健看護学会では、2月15日から8月末日まで、皆様からの投稿を、オンライン上もしくはこれまでの郵送による投稿、メール投稿で受け付けます。そして9月1日からは、オンライン投稿のみの論文受付となります。オンライン投稿は、日本精神保健看護学会のホームページからアクセスすることができます。またオンライン投稿規定については、投稿規定を添付いたしますので、この規定にそってご投稿頂きますようお願いいたします。またこれに伴い、これまでの郵送による投稿およびメール投稿の投稿規定についても、電子文献の記載方法、学術レポジトリに関する事項を加えていますので、下記をご参照下さい。学会誌が皆様にとり、貴重な実践や研究の宝庫となっていければと考えていますので、皆様からの多くの貴重な論文をお寄せ頂ければと思います。

編集委員長 宇佐美しおり

注) これまでの郵送による投稿規定の修正事項は下記になります。

*【電子文献】の記載方法

著者名: タイトル, 検索日, URL

〈例〉日本精神保健看護学会: 日本精神保健看護学会投稿マニュアル, 2010-10-26,
<http://www.japmhn.jp/journal>

*著作権について

本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に帰属する。

掲載後1年間は、他誌、著作者個人のwebサイト、機関リポジトリへ掲載することを禁ずる。最終原稿提出時、編集委員会から提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに送付する。掲載後1年を経たものについては、転載許可願を本学会事務局へ提出し許可を得る。

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々で共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただきます。皆様からの原稿をお待ちしております。

The Japan Academy of
Psychiatric and
Mental Health Nursing

*News
letter*

編集後記

▼日本に専門看護師の認定制度が誕生して15年、精神看護分野における有資格者数は現時点では93名に及ぶと言われます。▼この間に看護系大学、大学院は急増しました。▼一方、医師不足による地域医療の崩壊が叫ばれ、チーム医療の推進が議論される中で、医行為を部分的に担い連携協働できる高度実践看護師育成の方向へと看護職の裁量権拡大を指向する機運が高まっています。▼質の高い精神保健医療の担い手として看護職がさらに力を発揮できるように、cureとcareを統合した看護実践と教育方法を学び、開拓していく時代の幕開けとなるか、学術集会の成果が期待されます。

広報委員会 ホームページ担当: 萱間 真美 ニュースレター担当: 近澤 範子
 (お問い合わせ先) メールアドレス: noriko_chikazawa@cnas.u-hyogo.ac.jp
 TEL/FAX: 078-925-9430